

放課後児童健全育成事業について

1 事業実施状況について

(平成28年1月現在)

地 区	小学校区別	放課後児童クラブ	確保の内容 (定員) A	平均児童数 (27年度) B	A-B
新 湊	放生津小学校	こぼと学級	41人	18人	23人
	新湊小学校	さくら学級	40人	24人	16人
	作道小学校	道の子学級	42人	39人	3人
	片口小学校	とねりこ学級	93人	44人	49人
	堀岡小学校	なでしこクラブ	60人	23人	37人
	東明小学校	東明学級	58人	49人	9人
小 杉	小杉小学校	すこやか学級 ひばり学級	102人	100人	2人
	金山小学校	金山こぼと学級	38人	30人	8人
	歌の森小学校	ピノキオ学級 (2学級)	106人	93人	13人
	太閤山小学校	日吉学級 太閤山学級	100人	93人	7人
	中太閤山小学校	ひまわり学級 (2学級)	113人	107人	6人
大 門	大門小学校	たんぽぽ学級 (2学級) 風の子学級	173人	132人	41人
大 島	大島小学校	A S U K A 学級 (2学級)	118人	74人	44人
計			1,084人	826人	258人

確保の状況 A …各放課後児童クラブの専用区画面積を1.65㎡にて除した人数です。

ただし、金山こぼと学級は、経過措置を適用した1.11㎡にて除した人数です。

平均児童数 B …児童の登録状況（通年、長期利用）を踏まえた、平均児童数です。

2 作道小学校放課後児童クラブ「道の子学級」の分割について

現在、作道小学校区には校舎内の余裕教室にて放課後児童クラブ「道の子学級」が運営されていますが、平成28年度以降、次の要因により同学級への入級児童数の増加が見込まれることから、2学級に分割し、事業の安定かつ継続的な運営を図ります。

【要 因】

- ① 平成28年度以降、作道小学校の新1年生は概ね60人を超える見込みであり、さらに、新興住宅団地の児童（共働き・核家族世帯）の割合が多くなるため、その約4割が入級する想定としており、今まで以上に道の子学級への入級ニーズが高くなること。
- ② 平成23年度から作道地区において自宅を開放し、地域の力を活かしながら同地区児童の放課後等居場所づくり事業（富山県とやまっ子さんさん広場推進事業）を実施してきた「にこにこハウス」が27年8月末で閉鎖されたこと。

なお、2学級目の開設場所については、現作道コミュニティセンターの2階研修室とすることとし、今後、放課後児童クラブ専用施設の整備について、小学校等とも協議のうえ対応していく予定です。